



# 超音波・赤外線センサーを活用しよう！



超音波・赤外線センサーの設置が苦手です。  
設置しても鳴りっぱなしになることがあり、うまく活用できていません！

超音波・赤外線センサーをたくさん導入いただいている  
A病院様に聞いてみましょう！

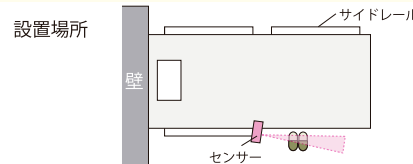


20セット  
使用中！



A病院  
臨床工学技士

当院では、離床センサーの大半が  
**超音波・赤外線センサー**です！  
当院の設置方法をご紹介しますね！



ご紹介するのはベッドを降りるタイミングで、患者の動きをキャッチする方法です。  
検知距離 :0.5m、設定時間 :0.5 秒、設置場所はベッド下中央と統一し、ベッド柵や履物でベッドから降りる場所を誘導することで、うまく運用できています。  
また、設定条件をスタッフ間で統一するというのも POINT だと思います。

$$\text{検知距離 } 0.5 \text{ m} \times \text{検知時間 } 0.5 \text{ 秒} \times \text{設置場所 } \text{ベッド下中央}$$



## 超音波・赤外線センサーのよくあるお悩み

### 鳴ったり鳴らなかったり不安定な場合

<p><b>NG</b></p> <p>検知範囲に誘導できていない。スリッパの置く位置を変更する。</p>	<p><b>OK</b></p>
<p><b>NG</b></p> <p>検知範囲がずれている。足を降ろす場所に検知範囲を向ける。</p>	<p><b>OK</b></p>

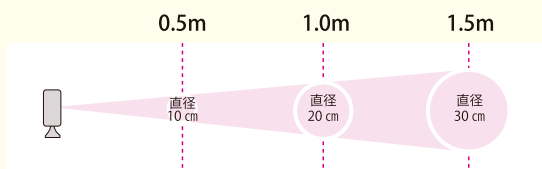
### 鳴りっぱなしになる場合

<p><b>OK</b></p>	<p><b>NG</b></p> <p>検知距離(範囲)を長く設定しているため、点滴スタンドも検知し誤作動が起きてしまっている。</p>
↓	
<p><b>OK</b></p>	<p><b>OK</b></p> <p>検知距離(範囲)を短く変更し、点滴スタンドに検知範囲がかぶらない様にする。</p>

※カーテンや壁なども検知範囲内にあると誤作動を起こす可能性があります。

### ● 検知範囲の目安はこのくらい！

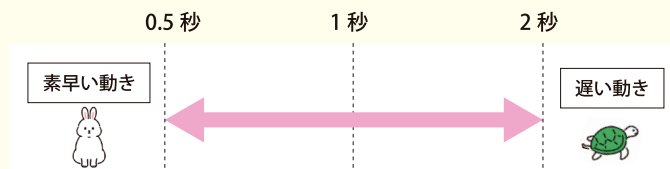
設定した検知距離の範囲内で、人を検知すると作動します。



↑1.0mの地点で、片手の面積がおよその検知範囲です。

### ● 検知時間って？

0.5、1、2 秒の間、人を検知すると作動します。



↑確実に動きをキャッチしたいのなら「0.5 秒」で設定するのをおすすめします。